

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年11月29日(2022.11.29)

【公開番号】特開2022-17461(P2022-17461A)

【公開日】令和4年1月25日(2022.1.25)

【年通号数】公開公報(特許)2022-013

【出願番号】特願2021-179627(P2021-179627)

【国際特許分類】

C 07 D 471/04 (2006.01)

10

A 61 K 31/444 (2006.01)

C 07 D 487/04 (2006.01)

A 61 K 31/5025 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

【F I】

C 07 D 471/04 1 1 3

C 07 D 471/04 C S P

A 61 K 31/444

20

C 07 D 487/04 1 4 4

A 61 K 31/5025

A 61 P 43/00 1 1 1

A 61 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月18日(2022.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

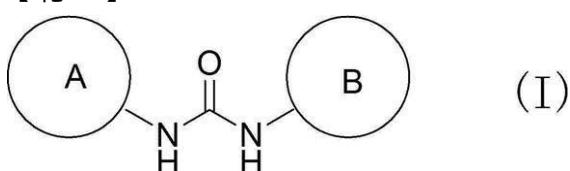
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



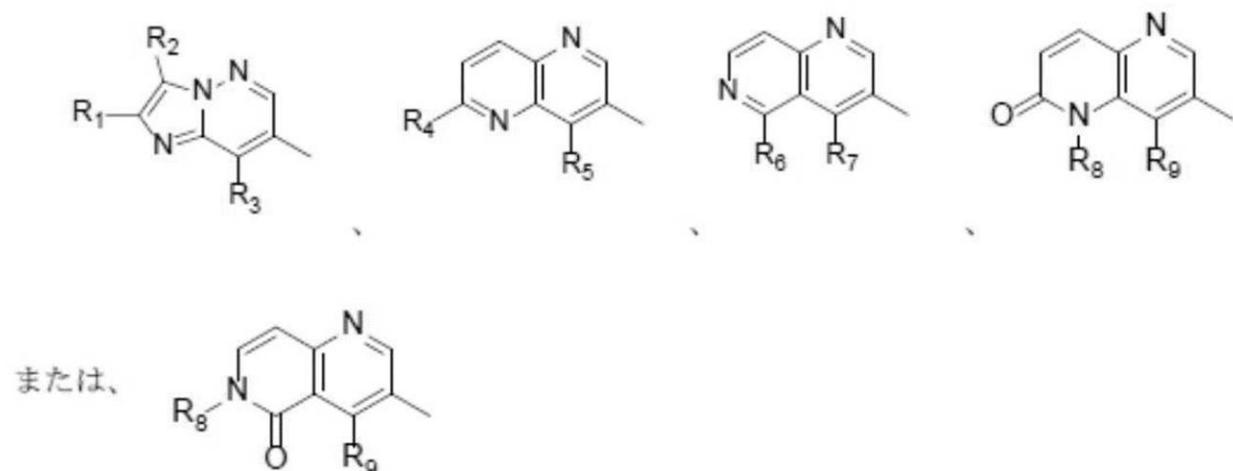
40

(式中、

Aは、

50

【化2】



10

を示し；

R₁は、1) 水素原子、2) ハロゲン原子、3) シアノ基、4) 1～3個のハロゲン原子で置換されていてもよいC₁～3アルキル基、5) C₁～3アルコキシ基、6) C₃～6シクロアルキル基、または7) フェニル基を示し；

R₂は、1) 水素原子、または2) ハロゲン原子を示し；

R₃は、1) C₁～3アルコキシ基、水酸基およびハロゲン原子から選ばれる1～3個の置換基で置換されていてもよいC₁～6アルキル基、2) C₁～3アルキル基およびハロゲン原子から選ばれる1～3個の置換基で置換されていてもよいピラゾリル基、3) C₃～6シクロアルキル基、4) C₁～3アルキル基でジ置換されたアミノ基、または5) 1～3個のハロゲン原子で置換されていてもよいフェニル基を示し；

R₄およびR₆は、1) 水素原子、2) ハロゲン原子、3) a) 水酸基、b) 4-メトキシフェニル基で置換されていてもよいC₁～3アルコキシ基およびc) ハロゲン原子から選ばれる1～3個の置換基で置換されていてもよいC₁～3アルキル基、または4) 1～3個のハロゲン原子で置換されていてもよいC₁～3アルコキシ基を示し；

R₅、R₇およびR₉は、1) 1～3個のC₁～3アルコキシ基で置換されていてもよいC₁～6アルキル基、または2) 1～3個のハロゲン原子で置換されていてもよいフェニル基を示し；

R₈は、C₁～3アルキル基を示し；

Bは、

1) a) ハロゲン原子、b) シアノ基、c) 1～3個のハロゲン原子で置換されていてもよいC₁～3アルコキシ基およびd) トリアゾリル基から選ばれる1～3個の置換基で置換されていてもよいフェニル基、

2) a) 1～3個のハロゲン原子で置換されていてもよいC₁～3アルキル基およびb) ハロゲン原子から選ばれる1～3個の置換基で置換されていてもよいC₃～6シクロアルキル基、

3) a) ハロゲン原子、b) シアノ基、c) 1～3個のハロゲン原子で置換されていてもよいC₁～3アルキル基、d) ハロゲン原子およびC₁～3アルコキシ基から選ばれる1～3個の置換基で置換されていてもよいC₁～3アルコキシ基、e) 1～3個のC₁～3アルキル基で置換されていてもよいピラゾリル基、f) 1～3個のC₁～3アルキル基で置換されていてもよいイミダゾリル基、g) C₁～3アルコキシ基およびハロゲン原子から選ばれる1～3個の置換基で置換されていてもよい1～3個のC₁～3アルキル基で置換されていてもよいトリアゾリル基、h) アゼチジニル基、i) ピロリドニル基、j) 1～3個のC₁～3アルキル基で置換されていてもよいテトラゾリル基、k) ピリミジニ

20

30

40

50

ル基および 1) オキサゾリル基から選ばれる 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよいピリジル基、

4) a) 1 ~ 3 個のハロゲン原子で置換されていてもよい C_{1 - 3} アルキル基、 b) 1 ~ 3 個のハロゲン原子で置換されていてもよい C_{1 - 3} アルコキシ基、 c) シアノ基および d) ハロゲン原子から選ばれる 1 ~ 3 個の置換基で置換されていてもよいピラゾリル基、または

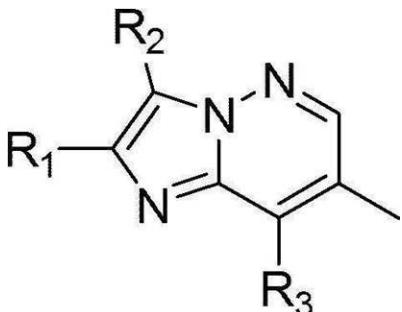
5) 1 ~ 3 個のハロゲン原子で置換されていてもよいイミダゾピリジル基を示す。) で表される化合物またはその塩、あるいはその共結晶、水和物または溶媒和物。

【請求項 2】

A が、

10

【化 3】



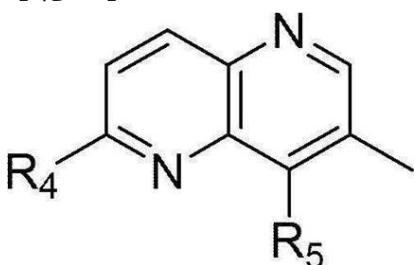
20

である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】

A が、

【化 4】



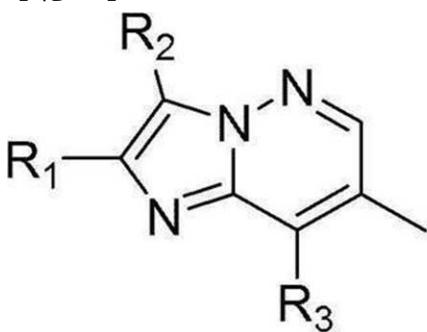
30

である、請求項 1 記載の化合物。

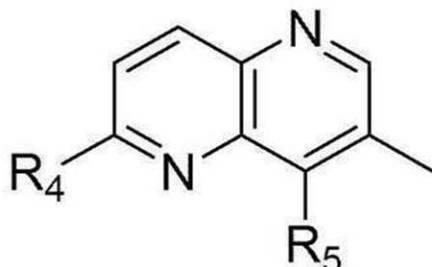
【請求項 4】

A が、

【化 5】



または



40

であり；

R₁ が、 1) ハロゲン原子、 または 2) C_{1 - 3} アルキル基であり；

R₂ が、 水素原子であり；

R₃ が、 1 ~ 3 個の C_{1 - 3} アルコキシ基で置換されていてもよい C_{1 - 6} アルキル基

50

であり；

R₄が、1)ハロゲン原子、または2)C₁-3アルキル基であり；

R₅が、1~3個のC₁-3アルコキシ基で置換されていてもよいC₁-6アルキル基であり；

Bが、a)ハロゲン原子、b)シアノ基、c)1~3個のハロゲン原子で置換されていてもよいC₁-3アルキル基、d)1~3個のハロゲン原子で置換されていてもよいC₁-3アルコキシ基、およびe)トリアゾリル基から選ばれる1~3個の置換基で置換されていてもよいピリジル基である、請求項1記載の化合物。

【請求項5】

(S)-N-(5-クロロ-6-(ジフルオロメトキシ)ピリジン-3-イル)-N'-(8-(1-メトキシエチル)-2-メチルイミダゾ[1,2-b]ピリダジン-7-イル)尿素 10

(S)-N-(4-(1-メトキシエチル)-6-メチル-1,5-ナフチリジン-3-イル)-N'-(6-(2H-1,2,3-トリアゾール-2-イル)-5-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル)尿素、

(S)-N-(5-クロロ-6-(2H-1,2,3-トリアゾール-2-イル)ピリジン-3-イル)-N'-(8-(1-メトキシエチル)-2-メチルイミダゾ[1,2-b]ピリダジン-7-イル)尿素、

(S)-N-(5-シアノ-6-(ジフルオロメトキシ)ピリジン-3-イル)-N'-(8-(1-メトキシエチル)-2-メチルイミダゾ[1,2-b]ピリダジン-7-イル)尿素、

(S)-N-(8-(1-メトキシエチル)-2-メチルイミダゾ[1,2-b]ピリダジン-7-イル)-N'-(6-(2H-1,2,3-トリアゾール-2-イル)-5-(トリフルオロメチル)ピリジン-3-イル)尿素、

N-(5-クロロ-6-(2H-1,2,3-トリアゾール-2-イル)ピリジン-3-イル)-N'-(8-(2-メトキシプロパン-2-イル)-2-メチルイミダゾ[1,2-b]ピリダジン-7-イル)尿素、 20

N-(5-クロロ-6-(ジフルオロメトキシ)ピリジン-3-イル)-N'-(2-クロロ-8-(プロパン-2-イル)イミダゾ[1,2-b]ピリダジン-7-イル)尿素、または

N-(5-クロロ-6-(2H-1,2,3-トリアゾール-2-イル)ピリジン-3-イル)-N'-(2-メチル-8-(プロパン-2-イル)イミダゾ[1,2-b]ピリダジン-7-イル)尿素
である、請求項1記載の化合物。

【請求項6】

(S)-N-(5-クロロ-6-(ジフルオロメトキシ)ピリジン-3-イル)-N'-(8-(1-メトキシエチル)-2-メチルイミダゾ[1,2-b]ピリダジン-7-イル)尿素である、請求項1記載の化合物。 30

【請求項7】

請求項1記載の化合物またはその塩、あるいはその共結晶、水和物または溶媒和物を含有してなる医薬。

【請求項8】

MALT1阻害薬である、請求項7記載の医薬。

【請求項9】

癌の予防または治療薬である、請求項7記載の医薬。